

令和二年度

甲斐市立竜王中学校

信玄堤

学校だより No. 15
令和3年3月24日
発行者 校長 今村弘樹



令和2年度も締めくくりとなります。スタートには見る事ができなかった桜が年度最後に満開となっています。この1年を象徴しているようにも感じました。ずっとやり続けてきたことは、蓄えてきた力は、きっと最後に花が咲き、周りを輝かしい思いにさせてくれると。with コロナの中で工夫もし、我慢もし、頑張り続けた1年間でした。お疲れ様でした。

1年後、2年後の姿をイメージして

3年生が卒業しました。1年前は突然の臨時休校でしたが、直前で練習も積んでいたため、一部変更しながらも合唱や呼びかけも行えました。今年は前から準備はできたものの、合唱や全員での呼び

かけはガイドラインからも厳しいものでした。その中で、卒業生は今年1年間もそうやって乗り越え、全校をリードしてくれたように、今できることを工夫して、これまでと同じような、ある面ではこれまで以上の思いの伝わる感動的な式をつくってくれました。グループごと録画した曲をつないでリモート合唱のようにし、それに合わせた手話でも表現しました。全員がマイクの前に立ち、言葉を伝えました。並び方を工夫し、曲や色紙もあわせて、テーマ「虹」に思いを託しました。



手話に思いを込めて

例年には見られないものだったけど、自分たちだけの、いい卒業式でした。この3年間で得たものを、これからの生活にいかして、充実した幸せな人生を送ってほしいと、心から願っています。

1, 2年生は、直接参加はできなかったけど、一部を午後からビデオで見ました。ちょっと聞き取りにくい映像だったけど、初めて触れる中学校の卒業式での姿に、ずっと見入っていました。みなさんはどんな思いで「この日」を迎えたい



生徒会長 答辞

でしょうか。卒業を迎える日に、心から充実した中学校生活だったと言ってほしいし、胸を張って旅立ってほしい。中学校の卒業はそれぞれが自分の選んだ道に分かれて進んでいくことでもあります。積み上げてきた努力が実っていることを望みます。そして一緒に歩んできた仲間に、先生たちに、学校に、何より支えてきてくれた家族に、心から感謝の思いを持って迎えられたらいいなと思います。この日までの、普段の日々がそれをつくります。裏面に卒業生代表の河野生徒会長の答辞を載せました。思いを受け継いでつないでください。

どんな思いで1年後、2年後を迎えられるか。これからにかかっています。楽しみです。



3年の先生たちからのサプライズメッセージ

答辞 別れの言葉 (抜粋)

……

二年生になり、私たちに後輩ができました。はじめの頃は「先輩」と呼ばれることに違和感を覚えました。次第に先輩としての意識が高まってきました。「どんな三年生になりたいか」を考え、自分たちを見つめ直してみると、課題が明確になりました。それらの課題一つひとつに向き合って最高学年になる準備をしていきました。

そして迎えた最高学年。この一年は目に見えない敵との我慢勝負でした。なかなか始まらない学校生活。突然奪われた二ヶ月もの仲間と過ごせなかった時間。みんなに会いたい、話したい、遊びたい……。最初はショックで落ち込んでいましたが、「誰かのために何かをしたい」「今できる最大限のことをしよう」と考えるようになっていきました。やっと始まった学校生活は学年スローガン「心歩」のもと、毎日元気に明るく、互いの絆を深めながら、私たちは確実に成長していきました。

そして「当たり前」のありがたみを痛感しました。みんなと話しながら給食を食べたかった、マスクを外してもつと傍らで友だちとふざけ合いたかった、授業中、グループでの活動をたくさんしたかった……考えると残念で悔

しくて仕方ありません。しかし、私たちは学園祭ができました。できることを考え、工夫して、全校で楽しむことができたのです。全校で協力して翔龍祭を成功させたことは、私たちの自信につながりました。普段、外出することすらためらわれる中で、修学旅行にも行くことができました。日程や行き先は変わってしまっただけで、「絶対感染しないで帰る」と誓い、考えて行動しました。最高の仲間と過ごす二日間は最高の思い出となりました。

……

ここにはいない在校生のみなさん。今日で私たちはこの竜王中学校を去ります。これからはみなさんがこの竜王中学校の伝統を引き継ぎ、次の世代へとつないでいく番です。これからの竜王中学校はみなさんの力にかかっています。どうか私たちの大切なこの学校を、さらに「地域が誇れる学校」にしてください。変わろうと思えば人は変わることができます。学校という大きなものでさえ、みんなが心を一つにして同じものを目指せば、行きたい方向に進むことができます。在校生のみなさん、後を頼みます。

最後にいつも隣にいてくれた三年生のみんな。みんなのおかげでこの三年間本当に楽しかったです。この緑学年が大好きです。苦し

いこともつらいことも、全部この緑学年のみんなとだから乗り越えてこられました。コロナに振り回された最後の年だったけれど、だからこそできた経験がたくさんあり、ついた力があります。与えられた状況の中で、何ができるかを考え、力を合わせて乗り越えてきました。この状況の中でいっそう、私たちは絆を深めることができました。ここでみんなと出会い、三年間をともに過ごし、そして今日、ともに卒業できることを心から嬉しく思います。

素敵な日々を本当にありがとう。まだこの仲間と一緒にいたい、笑い合っていたい……。そんな気持ちであふれています。しかし、私たちは目の前の扉を開き前へ進んでいかなければなりません。この大好きな竜王中学校を離れるのは寂しいけれど、竜王中学校卒業生としての誇りを持って歩んでいきます。百四十七名の特別な仲間との思い出を胸に、勇気を持って新しい一歩を踏み出します。

これまで支え、導いてくださったすべての方々に感謝します。本当にありがとうございました。

令和三年三月十一日 卒業生